阿武川（松本川・橋本川）ハザードマップ

概ね1000年に1回程度起こる大雨

阿武川（松本川・橋本川）ハザードマップの地域は津波や高潮・土砂災害の危険性もあります。萩市津波・高潮ハザードマップ、萩市土砂災害ハザードマップとあわせて確認しましょう。

検索ワード　萩地域版

萩市津波高潮ハザードマップ

萩市土砂災害ハザードマップ

避難場所一覧表

番号	避難施設名	所在地	電話番号	指定緊急避難場所	2次避難（※）	指定避難所
①	萩東中学校体育館	大字土原556-1	0838-25-2721	○		○
②	明倫小学校体育館	大字江向475	0838-25-2166	○	○	○
③	萩市総合福祉センター	大字江向356-5	0838-22-3803	○	○	○
④	萩商工高等学校体育館	大字平安古町544	0838-22-0034	○	○	○
⑤	萩西中学校体育館	大字堀内261	0838-26-2424	○		○
⑥	萩高等学校体育館	大字堀内132	0838-22-0076	○		○
⑦	堀内体育館	大字堀内127-6	0838-25-9385	○		○
⑧	海潮寺	大字北古萩町50	0838-22-0053	○		○
⑨	亨徳寺	大字北古萩町66	0838-22-0280	○		○
⑩	本行寺	大字北古萩町67	0838-22-1257	○		○
⑪	萩光塩学院	大字東田町15	0838-22-0782	○	○	○
⑫	萩地方合同庁舎	大字平安古町599-3	―	○	○	―
⑬	松陰神社立志殿	大字椿東1537	0838-22-4643	○		○
⑭	椿東小学校体育館	大字椿東2710-1	0838-25-2135	○		○
⑮	合同宿舎第二椿東住宅	大字椿東2929-12	083-922-2190	○		―
⑯	萩市民体育館	大字椿3395-1	0838-25-7311	○	○	○
⑰	椿西小学校体育館	大字椿3332-1	0838-25-2686	○	○	○
⑱	立野集会所	川上1425	―	○		○
⑲	萩市新総合福祉センター（仮称）	大字江向510	0838-25-3585	○	○	○

（※）２次避難…浸水状況により２階以上へ避難、または隣接校舎の２階以上へ避難

避難所開設情報は市からお知らせします

【指定緊急避難場所】災害の危機から命を守るために緊急的に避難する場所等のことです。災害が発生、または発生のおそれがある場合は、指定緊急避難場所へ避難してください。

【指定避難所】災害により住宅を失った場合等において、被災者等が必要な期間避難生活をする場所等のことです。

凡　例

施設

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 危険箇所（橋、アンダーパス、地下道等）
  ※アンダーパス：立体交差で掘り下げ式になっている下の道路
- 消防署・消防出張所
- 消防団詰所および器庫
- 警察・交番・駐在所
- 医療施設
- 市役所および出張所
- 学校
- 国及び県などの施設
- 道の駅
- 要配慮者利用施設

浸水の深さ

- ～0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m以上
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
  ※河川の氾濫により家屋が倒壊するおそれがある区域（詳しくは裏面を確認しましょう）

防災関連施設

- サイレン、ダム警報局、防災行政無線
- 防災ヘリポート
- 排水ポンプ
- 水位観測所
- 樋門

重要水防箇所

- 重要水防箇所
  ※洪水時に危険が予想され重点的に巡視点検が必要な箇所

道路

- 国道・県道
- 緊急輸送道路
- 河川等範囲

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

- 土石流
- 急傾斜地の崩壊
- 地すべり
  ※住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

- 土石流・急傾斜地の崩壊
  ※建物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に目立つ危害が生じるおそれがあると認められる区域

市で把握した過去の水害実績

- 昭和47年浸水実績
- 昭和50年浸水実績
- 平成11年以降の浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域

この区域は河川の氾濫により家屋が倒壊する恐れがある区域です。災害時は避難勧告などに従って当該区域から速やかに確実に立ち退いてください。

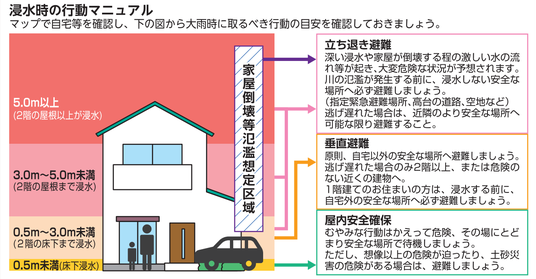
阿武川水系阿武川（松本川・橋本川）氾濫シミュレーション

浸水想定区域は、阿武川流域で想定し得る最大規模の降雨（9時間の総雨量314mm）に伴う洪水により、阿武川（松本川・橋本川）が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
概ね1000年に1回程度起こる大雨

※支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫等は考慮していません。浸水想定区域外でも浸水する場合や浸水深が実際と異なる場合があります。

浸水時の行動マニュアル

マップで自宅等を確認し、下の図から大雨時に取るべき行動の目安を確認しておきましょう。



立ち退き避難
深い浸水や家屋が倒壊する程の激しい水の流れ等が起き、大変危険な状況が予想されます。川の氾濫が発生する前に、浸水しない安全な場所へ必ず避難しましょう。
（指定緊急避難場所、高台の道路、空地など）
逃げ遅れた場合は、近隣のより安全な場所へ可能な限り避難すること。

垂直避難
原則、自宅以外の安全な場所へ避難しましょう。逃げ遅れた場合のみ２階以上、または危険のない近くの建物へ。
１階建てのお住まいの方は、浸水する前に、自宅外の安全な場所へ必ず避難しましょう。

屋内安全確保
むやみな行動はかえって危険、その場にとどまり安全な場所で待機しましょう。
ただし、想像以上の危険が迫ったり、土砂災害の危険がある場合は、避難しましょう。

概ね100年に1回程度起こる大雨

S=1:15,000
0　700　1,400m

阿武川水系阿武川および橋本川氾濫シミュレーション

浸水想定区域は、阿武川流域で計画規模の降雨（9時間の総雨量176mm）に伴う洪水により、阿武川および橋本川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
概ね100年に1回程度起こる大雨

※支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫等は考慮していません。浸水想定区域外でも浸水する場合や浸水深が実際と異なる場合があります。

凡　例
- ～0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 昭和47年浸水実績
- 昭和50年浸水実績
- 平成11年以降の浸水実績

S=1:10,000
0　500　1,000m

N　W　E　S

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平30情使、第911号）